

PRESS RELEASE

2020年11月9日

**長谷工グループの環境保全活動
東京都主催「東京グリーンシップ・アクション」に参加
八王子滝山里山保全地域で里山環境の復元活動を実施**

長谷工グループ（代表企業：長谷工コーポレーション、本社：東京都港区、社長：池上 一夫）は、2020年11月7日、東京都環境局主催の「東京グリーンシップ・アクション」^(※1)に参加し、八王子滝山里山保全活動を行いました。

八王子滝山里山保全地域は、東京に残る貴重な自然地として丘陵の生物多様性を保全し、里山としての原風景を回復させることを目的に、2013年に保全地域として東京都に指定されました。当社グループは2013年より毎年、同地域の保全活動に参加し、今年で8回目の実施となります。

今回は受付時の検温や消毒液設置など、新型コロナウイルス感染症の予防対策を施した上で、参加人数を絞り、作業時間を短縮して実施しました。（前回2019年5月実施時は9:00～15:00までの開催で、55名が参加）

参加者は公益財団法人東京都環境公社とNPO法人自然環境アカデミーの協力のもと、里山の自然や生物多様性の保全について学んだ後、竹の伐採や下草刈り、枯損木伐採処理などの活動を行いました。

長谷工グループでは、2012年3月に策定した「長谷工グループ生物多様性行動指針」に従い、環境を守る社会貢献活動を推進しています。今後もこうした活動に継続的に取り組み、自然環境の保全に貢献するとともに社員の環境意識の向上を図り、「大切にしたい風景」^(※2)の実現に努めてまいります。

(※1)「東京グリーンシップ・アクション」は、東京都に残された山地の森林や丘陵部の里山、市街地近郊の雑木林など、貴重な自然環境の保全を目的として2003年にスタート。東京都が中心となり、都内各地域で活動しているNPO法人、環境保全団体、企業や都民が連携して取り組んでいます。

(※2)2018年3月に制定した「CSRビジョン」及び「CSR方針」の元、長谷工グループのCSRが目指す姿として明文化した4つの取り組みテーマ（住んでいたい空間・働いていたい場所・大切にしたい風景・信頼される組織風土）の一つ。住まいづくりにおけるプロセスでの環境配慮を推進するとともに、生物多様性に配慮した活動を行うことにより、より快適で持続可能な地球環境を目指す。

【実施概要】

日時：2020年11月7日（土）9:00～14:00

場所：八王子滝山里山保全地域（東京都八王子市、保全指定面積 38,755㎡）

内容：八王子滝山里山保全地域の解説、自然観察

保全活動（竹の伐採、下草刈り、枯損木伐採処理）、樹名札作り

参加者：グループ社員 18名 ※例年は社員の家族も対象。今回は社員のみ

◆参加者コメント◆

- ・コロナ禍で自然と触れ合う機会が減っていた。久しぶりの環境保全活動を通じ、心身ともにリフレッシュできた。
- ・例年は5月に行われていたが、今回より秋の開催となり、初夏とは違う里山の様子を初めて観察することができた。



[左：枯損木処理・右：樹名札作り]



[左：下草刈り・右：竹の伐採]



[集合写真]